

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

●本製品はVレール方式片引戸、上吊方式片引戸に取付けられます。

## ▲注意

●必ず下穴をあけてからねじを締付けてください。下穴をあけずにねじを締付けると部材に割れが発生し、製品脱落の原因になります。

## ■取付け上のお願

●枠仕様によって取付け方法が異なりますので、必ず下記取付け仕様にしたがって取付けしてください。

●枠仕様がVレールで本体がフラッシュ構造の場合、部品取付けの関係で開口寸法が40mm小さくなります。

●ソケットの色は、クローザ本体色がB・C・K色の場合はB色、N・E・F色の場合はN色、J色はJ色となります。

●車内、倉庫など高温な場所での保管は変形の原因となるおそれがあります。

●調整の際、無理にねじを回し過ぎたりしますと、故障の原因となります。

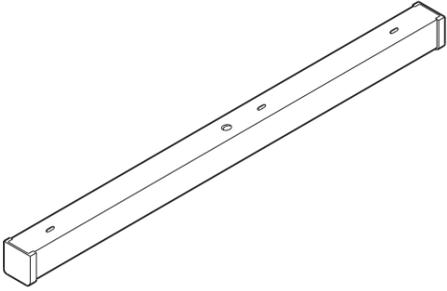
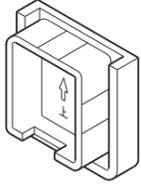
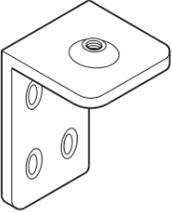
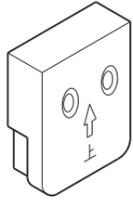
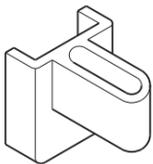
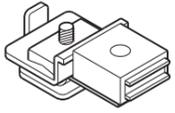
●スムーズな扉の開閉を保つため、引戸クローザ本体は水平に取付けてください。

●取付けの際には電動ドライバーの使用は避けてください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、頭がつぶれたりする場合があります。

●粉塵や湿気の多いところ、又は直射日光の当たるところでの使用は避けてください。

●Vレール方式引戸に取付ける場合は、枠側のブレーキ部品（上レール内の部品）を外してください。上吊方式の場合は取外す必要はありません。ブレーキ付きの場合は最弱に調整してください。

## ■部品・部材の明細

部品名	本体	キャップ	ピン	ブラケット		ソケット		ストッパー
				L型ブラケット	平ブラケット	ソケットベース	ソケット	
								
数量	1	2	1	3	3	1	1	1
取付け方法	枠に直接取付ける場合  バインドタッピンねじ φ4×20 (3本)	ブラケットを用いて取付ける場合  バインド小ねじ M4×8 (3本)	クローザ本体両端に上下方向に注意してはめ込み クローザ本体上部中央丸穴より落とし込みます	 皿タッピンねじ φ3.5×15 (6本)		 ナベタッピンねじ φ3.5×25 (2本)	 ナベ小ねじ (頭部着色) M4×10 スプリングワッシャー付 (1本)	 皿小ねじ M6×15 (1本)
取付けパターン	Aパターン	B・Cパターン	全パターン	全パターン	Cパターン Bパターン	全パターン	全パターン	全パターン

※取付けパターンによって使用するねじが違います。1 取付け方法の確認を参照してください。

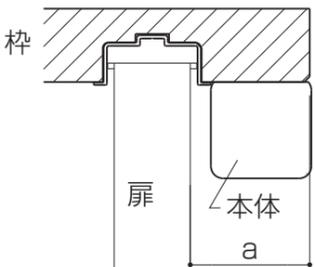
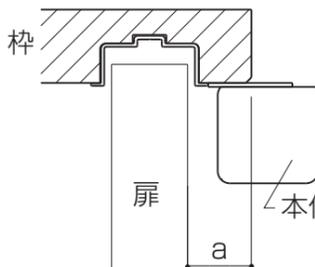
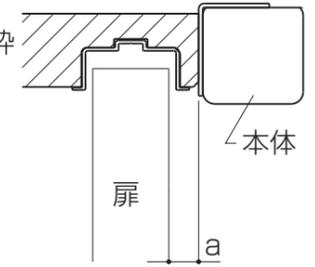
## ■取付け順序

### 1 取付け方法の確認

## ■取付け詳細

### 1 取付け方法の確認

● 枠仕様によって下図の3パターン取付け方法があり、使用部品が異なりますので、使用する部品を確認してください。

パターン		A	B	C			
		a寸法=25mm以上の場合	a寸法=15~25mmの場合	a寸法=15mm以下の場合			
取付け方法		 直接枠に取付けます	 平ブラケットを使用します	 L型ブラケットを使用します			
対応機種	ノンケーシングタイプ	Vレール方式 上吊方式	NC156・NC171 NC180	Vレール方式 上吊方式	NC115	Vレール方式	NC90
	ケーシングタイプ	Vレール方式 上吊方式	厚壁	Vレール方式 上吊方式	薄壁		

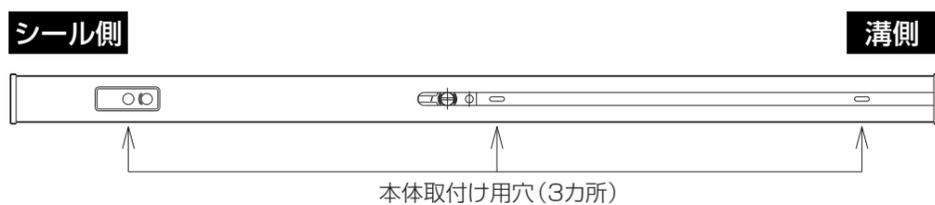
### 2 ブラケットの取付け

### 2 ブラケットの取付け (枠に引戸クローザを直接取付ける場合は必要ありません。)

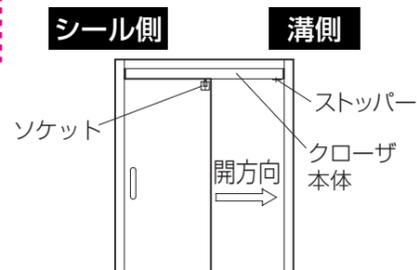
- ① 引戸クローザ本体を枠にあてて本体取付け用穴 (3カ所) の位置で枠に印を付け、ブラケットの取付け位置決め (横方向) をします。
- ② 枠に付けた印がブラケットの中心になるようにブラケットを取付けます。

#### ▲ 注意

● 必ず受け部材に下穴φ2×15をあけてから、ねじを固定してください。

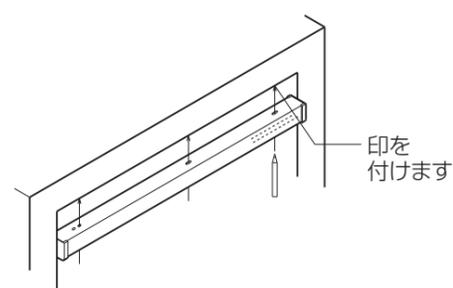


#### 【クローザ本体納まり】

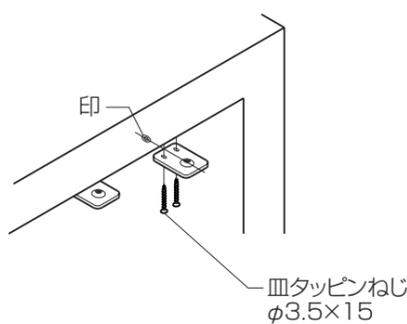


#### 【Bパターン:平ブラケット使用の場合】

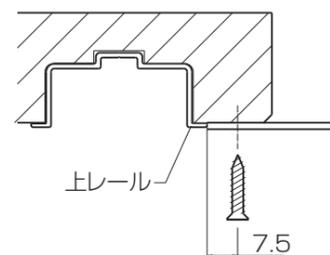
##### ● 取付け位置決め



##### ● 平ブラケットの取付け

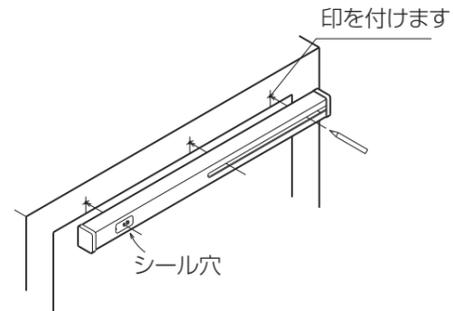


● 平ブラケットは上レールに突付けの位置に取付けてください。

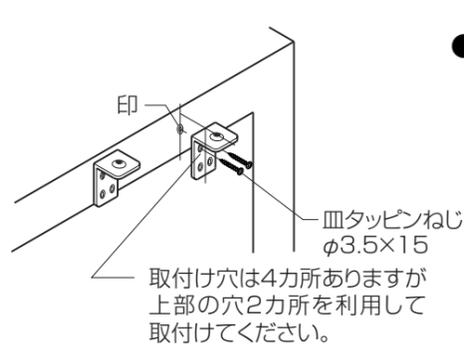


#### 【Cパターン:L型ブラケット使用の場合】

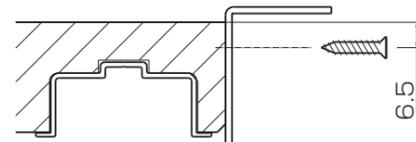
##### ● 取付け位置決め



##### ● L型ブラケットの取付け



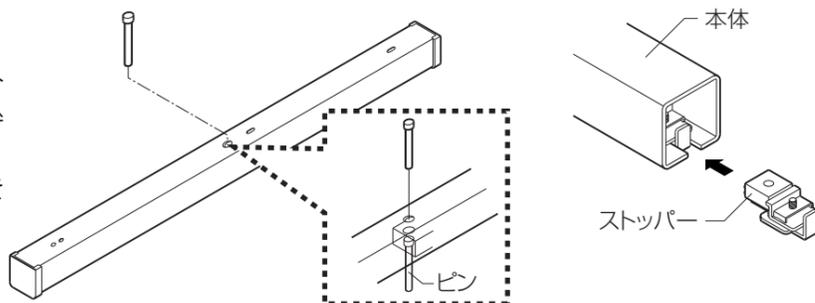
● L型ブラケットは上枠の上端より6.5mm下の位置に上部の穴を合わせて取付けてください。



### 3 引戸クローザ本体の部品取付け

### 3 引戸クローザ本体の部品取付け

- ① 本体溝側のキャップを外してストッパーを挿入します。その際、本体下面をプレートで挟み込むようにしてください。
- ② 引戸クローザ本体の上面中央の丸穴にピンを差込みます。



#### 4 引戸クローザ本体の取付け

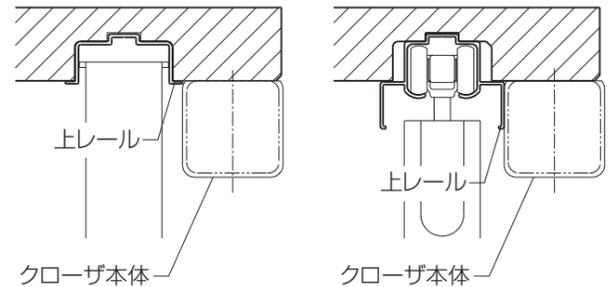
#### 4 引戸クローザ本体の取付け

- ①中央部を本体が動く程度に仮止めします。
- ②シール側を縦枠に合わせて固定します。
- ③溝側を固定します。
- ④中央部を締付け固定します。

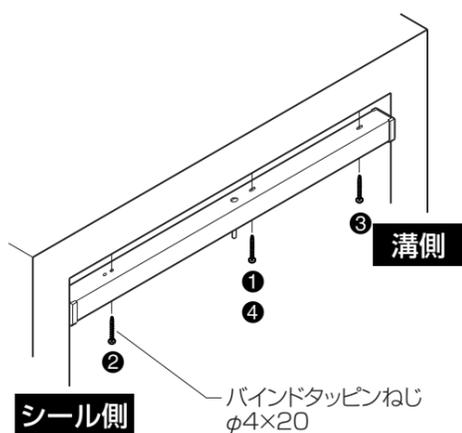
- 引戸クローザを直接枠に取付ける場合は、クローザ本体をレールに突付けの位置に取付けてください。

#### お願い

- ※Vレール方式引戸に取付ける場合には、枠側のブレーキ部品（上レール内の部品）を取外してください。
- ※上吊方式引戸では部品取外しの必要はありません。ブレーキ付きの場合はブレーキを最弱に調整してください。
- ※ケーシングタイプの場合ケーシングを施工してからクローザを取付けてください。

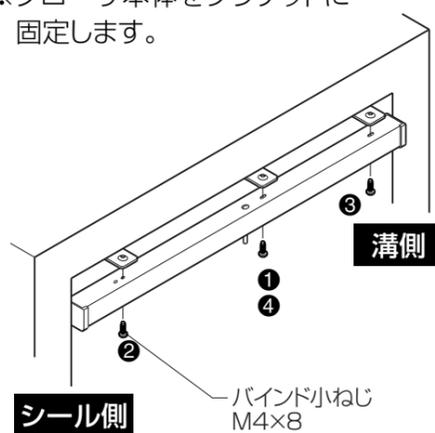


#### 【直接枠に取付ける場合】



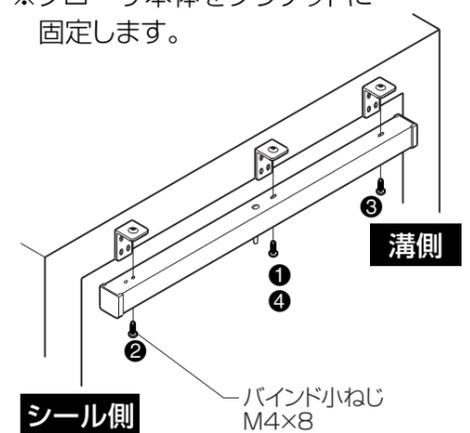
#### 【平ブラケットを使用する場合】

- ※クローザ本体をブラケットに固定します。



#### 【L型ブラケットを使用する場合】

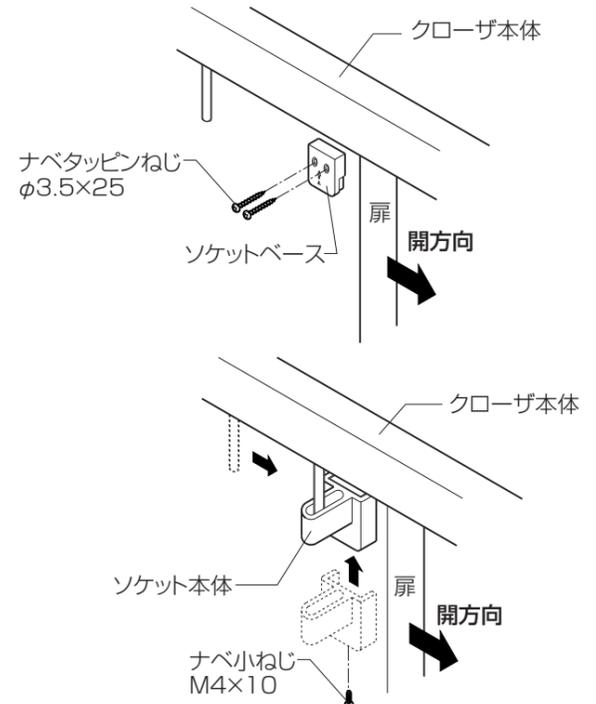
- ※クローザ本体をブラケットに固定します。



#### 5 ソケットの取付け

#### 5 ソケットの取付け

- ①引戸本体にソケットベースを同梱のねじ（ナベタッピンねじφ3.5×25）で固定します。
- ②クローザ本体のピンをソケットベースの中央まで移動します。
- ③ソケットをソケットベースの下から差し込み、ピンをソケットの上部長穴に入れます。
- ④ソケットをソケットベースに同梱のねじ（ナベ小ねじM4×10）で固定します。



#### お願い

- ※ソケットベース取付け前に、引戸を閉めた状態でピンを動かし、ソケットがピンの入る位置にあることを確認してください。

#### ▲注意

- 必ず受け部材に下穴φ2×20をあけてから、ねじを固定してください。

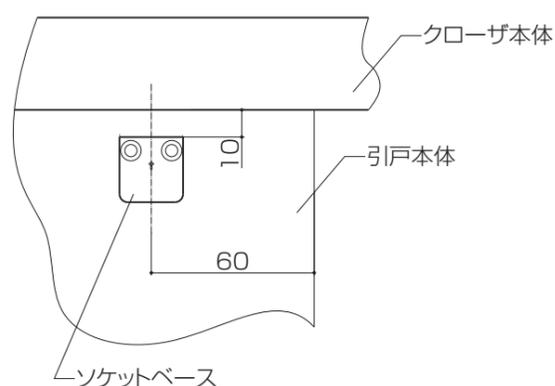
#### ■ソケットベースの取付け位置

##### ●引戸Vレール方式枠組構造本体

##### 引戸上吊方式本体

横位置:本体端部より60mm

縦位置:クローザ本体より10mm下



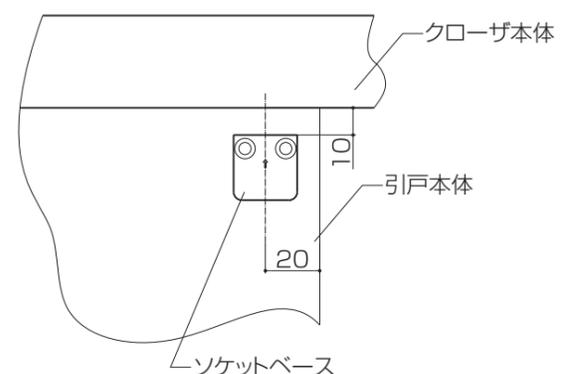
##### ●引戸Vレール方式フラッシュ構造本体

横位置:本体端部より20mm

縦位置:クローザ本体より10mm下

##### ※引戸Vレール方式

フラッシュ構造本体に取付けた場合、有効開口寸法が40mm小さくなります。



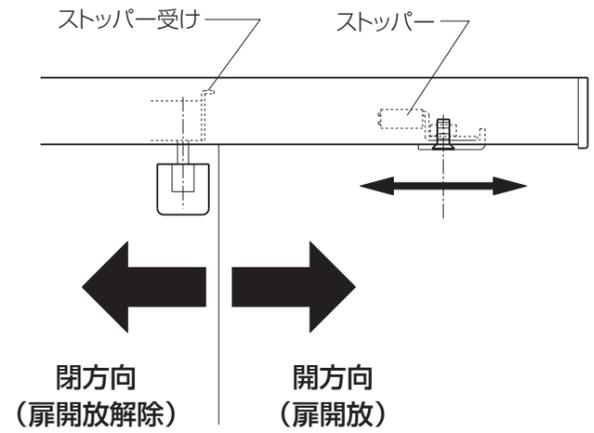
## 6 引戸クローザの調整

### 6 引戸クローザの調整

#### ■ストッパーの取付け位置決め

●扉を開放しておきたい位置まで開けストッパーの位置決めをしてください。下部より皿小ねじを締付けて固定してください。

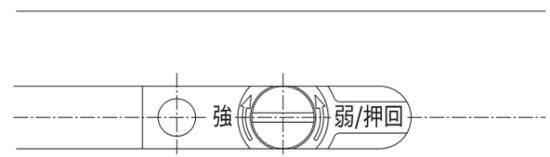
※扉は、ストッパーに軽く当てるだけで開放状態を保ちます。開放状態を解除したい場合は、扉を閉方向に引いてください。



#### ■開閉強度の調整

●クローザの力で扉が閉まらない場合には、開閉の為のスプリング強度を強くします。ピンの横にあるねじをマイナスドライバーで「強」の矢印の方向に扉が動きだし閉まるまで少しずつ回してください。ねじが回らなくなれば一番強い位置です。

※弱くする場合は「弱」の矢印の方向にねじを押し上げながら回してください。(工場出荷時は一番弱に調整済み)

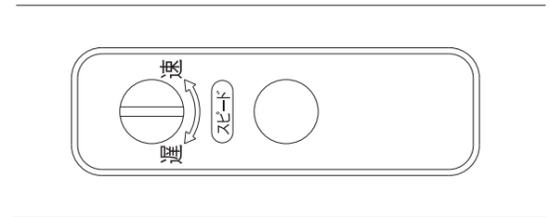


#### ■スピード調整

●閉時の約20cm手前からのスピードが調整できます。シール部の「スピード」のねじをマイナスドライバーで「速」・「遅」希望する方向へ回してください。

※微妙な調整ですので少しずつ注意しながら回してください。

※構造上スピード調整はブレーキ作動のときのみ調整可能です。(初動スピードは調整できません。)



## 7 現場切断方法について

### 7 現場切断方法について

- ①クローザ本体両端のキャップを外してください。
- ②クローザ本体が枠に納まるように枠の開口寸法よりキャップの厚み(3mm)分短くなるようにシール側・溝側の両方を均等に切断します。
- ③クローザ本体両端のキャップをはめます。

#### ■切断可能最小寸法

呼称	寸法	規格品寸法	最小寸法
W12		1141	カット不可
W14		1427	1281
W16		1593	1481
W18		1773	1593

※上記寸法は、キャップ取付け時のものです。

